

## 新しい学年に進む前に、教科書を予習しておこう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 4月になりましたので、来週から小学校・中学校・高校・大学・専門学校などのすべてで新しい学年が始まると思います。そこで、新しい学年の予習をどのようにしたらよいのかについて少しお話をさせていただきます。一番大事なのは、予習とは何かを考えることだと思います。よく考えれば、予習とは、新しい学年でこれからの何を勉強するかということが大雑把に知ることだと思います。また、何がわからないかをはっきりさせて授業に臨むことだと思います。この2つの意味がありますので、それらを達成するために予習をしていただければと思います。
3. では、何を使って予習をすればよいのでしょうか。それは簡単です。もうお手元にあるかもしれませんが、学校から配られた教科書・教材・問題集などを使って予習をしてください。  
予習の進め方も簡単です。学校の先生のお話をよく聴くようなつもりで、教科書などに書いてあることを一語一語よく噛み締めながらゆっくりゆっくり読んでください。  
どこまで予習をすればよいのかというと、教科によってもずいぶん違うでしょうが、好きな教科は教科書をまるまる1冊読んでみましょう。予習といっても、教科書に書かれている内容を全部覚えるわけではありません。この時期に一番大事なのは、教科書の内容を大雑把に理解することですので、ぜひまるまる1冊読んでいただければと思います。例えば国語は、物語を読むようなつもりで、教科書を初めから終わりまで読んでみましょう。また、音楽が好きでピアノが弾ける方は、音楽の教科書に出ている曲を弾いてみると、素晴らしい予習になると思います。このように、一つ一つの教科について、自分の好きなやり方で教科書を読むことをお勧めします。
4. 次に、教科ごとに具体的な予習の仕方をご紹介します。英語は、声を出して教科書を読むのが一番よいと思います。そして、読んでいる途中で読めない単語や意味のわからない単語があったら、辞書を引いて調べることが大事です。その上で、意味調べノート、いわゆる単語帳を作り、そこに読み方や意味をメモしておくとうよいでしょう。
5. 国語は、最初に教科書がすらすらと読めるようにします。そのときに意味のわからないことばがあったら、気持ちが悪いと思い、ちょっと止まって国語辞典を引いてください。また、読み方がわからない漢字があったら、漢字辞典あるいは漢和辞典で調べましょう。そして、調べた読み方や意味を意味調べノートに書いておくのが、素晴らしい予習の仕方だと思います。

6. 数学・算数はまず、教科書を読んで内容を理解してください。そして、ノートに1冊用意し、教科書にたくさん出てくる例題や練習問題を少しでも解いてみましょう。そのときに注意することは、問題もノートに書き写すことです。問題を書き写して、そのあとに問題を解く手順・計算の内容をしっかりと書いておくことが大事だと思います。もしわからない問題があったら飛ばして、それに自分なりの印、例えばハテナマークなどをつけておいて、その問題は学校の授業を聴いて解決していただければと思います。

7. 社会と理科は、教科書に意味のわからないことばがあっても、辞書には出ていない場合があります。そこで、できれば社会・理科の学年別の参考書や用語集を使って調べてみてください。そうすると、少しずつわかってきます。

歴史に関しては、まんが日本史・まんが世界史といった楽しい教材がたくさんあります。ですから、教科書を読んでいてちょっとわからないことがあったら、まんが日本史・まんが世界史を読んでみてください。

地理は、学校から配られる地図帳をそばに置いて、例えば栃木県はどこにあるのか・宇都宮市はどこか・野木町はどこかなどと、地名と場所を確かめることも面白いと思います。

理科は、学年別の参考書を買って手元に置き、教科書でわからなかったことを確かめていくと、よい予習ができると思います。このような形で予習をして、その学年で勉強することを大雑把に理解していただくのが一番よいと思います。

8. この予習の仕方は、一度身に着くと、小学校や中学校はもちろん、高校ではもっと役に立ちます。また、大学や大学院でも役に立ちます。さらに、社会に出ても役に立ちます。例えば、何かものごとを行うときに、予め勉強を少しして、何がよくわからないのかをはっきりさせてからみんなと議論をすると、いい仕事ができたり社会的活動ができたりします。ですから、ぜひ学校にいる間に予習の仕方を身に付けていただければと思います。

9. 新しい学年を迎えるにあたり、学校の教科書をどんどん予習していただければと思います。勉強に遠慮はいりませんから、予習にも遠慮はいりません。ゴールデンウィークが終わるぐらいまでに、1教科でも多く教科書をまるまる1冊予習しておく、今年1年素晴らしい学校生活を送れると思います。ぜひご挑戦ください。今日は、予習の仕方についてお話をさせていただきました。